

第4回 北九州市迷惑行為防止推進協議会 議事要旨

- 1 日時 平成21年5月20日(水) 10:00～11:30
- 2 場所 北九州市役所本庁舎15階 特別会議室B
- 3 議題 過料適用状況の経過報告
委員意見交換 他
- 4 出席者 大坪委員(会長)、豊川委員(副会長)、太田委員、加藤委員、久保委員、
田中委員、松永委員、安永委員
- 5 議事概要

- (1) 過料適用状況等について事務局が経過報告を行い、その後意見交換を行った。委員の主な発言概要は次のとおり。

モラル・マナーアップの広告等をよく目にするようになってきているので、市民の意識は高まっていくのではないかと。

JR小倉駅前では未成年の路上喫煙者を見つけたので注意をしたが、そのまま行ってしまった。未成年者の喫煙を注意することは、大人の義務だと思う。

重点地区内の路上喫煙率は激減しているようであるが、重点地区外はあまり変わっていないような気がする。

子どもの頃から清掃活動に参加させるなどの取組みをしないと、よくなるのではないかと。大人になると意識付けが難しい。

- (2) 基本計画骨子案について事務局が資料説明を行い、その後意見交換を行った。委員の主な発言概要は次のとおり。

環境局や教育委員会などと連携して、全市的に取り組んでいかなければならないのではないか。

地域の生活安全パトロール隊などに要請してはどうか。

実績に対する数字的な評価が少ないような気がするので、アンケートを実施してはどうか。

一日署長ではないが、観光大使にごみ拾いなどをやってもらってはどうか。子どもたちの頭にも残ると思う。

過料の対象となっている4つ以外の迷惑行為についても、周知が大切だと思う。

(3) 重点地区・推進地区の活動について事務局が資料説明を行い、その後意見交換を行った。委員の主な発言概要は次のとおり。

各区の自治会は、門司港レトロや黒崎を追加指定してはどうかという意見を持っている。

JR小倉駅前に灰皿を置いたのはいいことだと思う。これ以外にもいくつか考えてみてはどうか。

推進地区については、各区の主要地域を指定することによって、全体的な効果が出てくるのではないか。

北九州市は世界の環境首都を目指しているということもあるので、環境に取り組んでいる公民館や学校をリーダー地域に指定して、模範となるような実例を作ることで効果を上げていけないか。

予算の限りもあるので、取組みのアイデアとか熱心さとかをコンペなどで決め、モデル的になりそうだとするところに、推進のための多少の予算をかけるというやり方はどうか。

重点地区は当面1箇所ということになっているが、門司港レトロ地区などは市のイメージを高めるといことで、重点地区に指定した方がいいかと思う。

重点地区ではポイ捨てしないという“地区”ではなく、“人”に対してのマナーアップが必要である。全市民へどれくらい徹底するかということが大事ではないか。

迷惑行為防止活動推進員という名称があるのであれば、各小学校区に1人ずつ置いて研修をさせ、地域に募って毎年1人ずつ増やすようにしてはどうか。

(4) 会長まとめ

基本計画の中には、地域での活動をどう励ましていくかということも是非盛り込んでいきたい。

この協議会は、あまり現実的なところだけにする必要はない。どういう形が北九州市にとって全市的なモラルマナーアップに繋がっていくのか、多少大風呂敷でも構わない。

後日、事務局が委員のところにお伺いするので、今日いただけなかったアイデアをお聞かせいただくと助かる。

6 今後のスケジュールについて

- (1) 第5回目の協議会は、本年12月に開催予定。必要があれば早く開催することがある。
- (2) 本年12月までに、基本計画についての委員の個別ヒアリングを実施予定。

文責：事務局（総務市民局安全・安心課）